

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス ちゅらくくる		2025年 12月 26日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	机上での活動などもブレイルームを上手く活用して落ち着いた状態で活動ができていると思います	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	各部屋の使い方が分かれている点が良いと思っています。バリアフリー化に関して、入口が階段なので、ふいに車椅子ユーザー（子どもや保護者）が来られた際に対応できるように、職員が介助できるように技術を持つか、持ち運べるスロープを用意しておくなどしておいたら理想的かと思います。	建物の構造上、全面バリアフリー仕様ではないため、ご来所初めての方には前以て電話でご説明をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	おおむねよいと思うが、装飾（壁のシーサーとか）をなるべく無くしたり、カウンター上の物の位置を決めてすっきりさせたり、カウンター奥の壁面を子どもが居る時間はカバーして気になる文字情報をカットするなど、できたらしたい。	職員間で協議し情報をカバーする等、今後工夫をしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	職員が必要と思うときはそのように誘導できるが、子どもたち皆にその認識（環境の選択が可能であるということ）があるわけではない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	プログラムの振り返りの時間ができたのは本番に良いと思う。あとは、利用人数何人の時のランチチェックで米何合炊くか・・・のような毎日出る悩みが、特定の職員の中にだけある感覚的な物ではなく、実績がこうだったから、このメニューなら今回はこう、と根拠を持って判断できると、時間も材料も無駄にならないと思う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	評価表のみにしてだと、年一度のみなので意識する機会はない。しかし、その年毎に出た問題や改善点は確実に早めに良くしていきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	管理者が職員の日々の悩みや疑問点等を随時間いてくれ、ほぼ即時改善してくれており助かっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	上記に同じ	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	・様々な面でもう少し研修や勉強会が欲しい。 ・外部のノウハウを取り入れたり、他所の見学などして比較対象を得て、できていることや足りないことがも洗い出せるのではと思う。私も他所は2つしか内部を知らないんで、最近凝り固まってきている様に感じます。	職員間で洗い出ししながら、機会を多く増やしていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	客観的な意味ではできていないと思う。特にフィジカル面の発達や作業、動作について、理学や作業的な視点が分からないがその視点で見る必要がある、という機会が増えてきたので、その専門性をどこで補填したらいいのか（採用する、以外で）という悩みはあります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	今の原案会議の形になったことで、支援計画に対する添削大会のような本来の意図とは異なる形でなくなったのがよかったと思う。新規児童のものを作るときにどうするかが課題。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	児発管がその仕組みを作らねばならないが、まだ出ていない。が、日々職員の皆さんがやられている支援とほぼ一致してくれるのでこれまでの乖離は実際には無いと思っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	チームで行う、の定義にも寄るが、各々の力や興味、持っているものを発揮できていると思う。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・翌日朝にはしている ・支援後ではないが翌日に行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	記録できていることとできていないことがある。個々の記録しておきたい様子については、個人的に記録は残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	2		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	機会はあまりないが、そうにするべきと思っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	もっとフットワーク軽くそうにできたらと思う。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	必要に応じている。理想は、全ての児童でそのようにできたらよいが、連絡調整が必要になり結構手間ではあるので、ためらいがある。	必要最低限の連絡をしています。毎年固定された園の卒業者ではないため、しっかりとパイプ作りが出来ていない。今後検討していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	まだその機会がない。	事業所の年数が浅いのが要因です。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	来年、そうにする計画がある。	来年から設けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	・上記について、具体的なイメージが湧かない。 ・地域の他のこどもと活動することはとても大事だと思うので、地域の行事に参加するなどの機会があれば良い	今後検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	したいと思う。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎を担当してくださっている職員さんが毎度様々に気を配りながらお話ししてくれている。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	情報共有、としてメルマガ的なものがあるのもいいかと思う。例えば、note というプラットフォームで記事を書き、そのURLを共有するとか。	今後、職員間や保護者様の意見をとりまめながら、意味のある方法を検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	子ども自身の考えや意向の確認が甘かったり、大人が「こうしたい」「こうすべき」を押し付けるようになっていないか、したい支援をしようとしていないかを日々もっと考えていかなければいけないと思うときがある。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	6	・保護者同士のカジュアルな茶話会の機会があるとよいと思う。共感したり「分かります」等面談で言うことはあっても、発達に心配や不安がある親同士でしかありえない、その安心感の必要性を感じています。 ・保護者同士、きょうだい同士の交流については個々の家庭によって考え方の違いがあると思われるので、慎重に対応するべきだと思う。保護者会についてはあっても良いかもしれない。	今後、職員間や保護者様の意見をとりまめながら、意味のある方法を検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		地域の組合には入会していますが、事業所に住んでいないため、現在取り組みは難しい状況です。多角的な方面で検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	周知の部分が不十分であると思う。	今後、徹底した周知をしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	様々計画していただき、改善していていると感じます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	医師の指示書に基づく対応ではないが、除去するなど結果的にそうなるようになっていいると思う。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	「安全計画」を自分自身が何のことなのか理解していません。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	入職時の最低限のところはクリアしているが、それ以上のことはできていない。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2	記載していない。また、3つの条件について機会を見てもう少し周知やケーススタディの機会があれば良いと思う。	